

三月
定例会

市議会だより

一般質問

会期中の三月六日、七日の二日間、わたって一般質問が行われ、滝沢 耕、畠沢 一郎、伊藤武吉、菅原 昇、斎藤芳二、貝森哲男、虹川信一、佐藤義一の八議員が市政を取り巻く諸問題について、市の方針をただしました。

その主な質問と応答の概要は、次のとおりです。

温泉センターの建設について

〈問〉大滝に多目的集会所を兼ねた温泉センターを建設する考えはないか
〈答〉多目的集会所があれば役立つことは十分理解できる。計画も持っているが、管理や採算性の問題があり具現化していない。ただ、民話と言われている時期でもあり、行政が協力するという形であれば、第三セクター方式も含め、資金面での協力もやぶさかでない。

市産業界の活性化について

〈問〉当市産業界活性化につながる企業

誘致に関し、その受け皿である条例を特色をもった誘致条例につくり変える必要があると思うがどうか。
〈答〉雇用奨励費等、新しい項目を盛り込んだ、企業誘致条例の改正案を六月議会に提出予定である。交通、人材地価等、いろいろ問題はあがるが、今後も企業誘致を柱に当市の産業界活性化に向け努力していきたい。

大型店進出問題と都市機能の向上について

〈問〉一定の大型店受け入れは、都市機能を高めると思うが、商調協の三月結審とその見直しはどうか。
〈答〉三月結審になるのか、少し先送りになるのが、いずれも結審をしようとするのが、確実に見えて来たというふうには思っている。今の段階で、どうこう雑音を入れて混乱を助長するようなことはあってはいけない。いずれ、これまでの議論が素直に反映された形の結審になるよう願っている。

農業行政について

〈問〉農業用水の汚染防止対策として

の農村下水道の事業化のあり方を検討してみようか。
〈答〉米代川流域下水道事業との整合性をとりながら、下水道の指定区域外である農村地域は、農村下水道整備事業で対応していかねばならないと考えている。

米代川流域総合整備計画等について

〈問〉米代川流域総合整備計画及び流域下水道事業の今後の見直しはどうか。
〈答〉過疎化が余儀なくされている米代川流域の地域発展のための調査であるが、具体的なものは定まっていなくて、どう生かすかこれから問題だ。流域下水道は全国で唯一、六十一年度採択となった。六十二年度から処理場の用買、本工事と進んでいくが長期工事となるため、市民の理解を得るための大変な前作業がある。

いじめ問題と学校の水問題について

〈問〉小・中学校における、いじめの問題の現状と対応、及び水問題は早急に対策を。
〈答〉いじめの問題は当市でも多少はあるが、悪質な事例はない。教育委員

会では、現状把握に努め個々の事例に適切に対応するよう指示している。水問題は花岡小・中学校、幼稚園、公民館を含めて、六十一年度に水源を調査確保し、なるべく早く水道を布設したい。

大規模校の実態と解消計画について

〈問〉当市における過大規模校（一中、城南小）改善のための抜本策はないか。
〈答〉国の基準から見ても狭く、過密であることは事実、改善策として、学区の再編と適地への校舎建設が挙げられるが、地域住民の複雑な感情とのかかりがあり、今後とも慎重に検討を続けたい。

ふるさとセンター候補地について

〈問〉市はふるさとセンター建設の企画を進めているが、観光開発にうってつけの芝谷地周辺に建設する考えはないか。
〈答〉芝谷地は、国の天然記念物として指定を受けた貴重な湿原植物が群生しており、この先も管理が大変な問題だ。建設地としては大変すぐれた立地条件をもった場所であると思うが、い

その他の質問事項

いろいろと検討が必要だろう。

- ▽財政（歳出、歳入の基盤整備の配慮、中・長期の財政見直し）について▽積極的な果樹振興策を▽市の車両の集中管理及びマイクロスパスについて▽矢立小・中学校改築と長走小の統合▽大型体育館▽市のスキー場▽市の公害問題の対応▽市内高校の統廃合と大学誘致▽市長の公約と実績▽企業誘致▽工場団地▽誘致態勢と業種の選定▽財政（経営経費、地方交付税、財政と道路行政について▽地場産業振興と企業誘致促進協▽駅前開発とふるさとセンター建設▽住宅建設（公営、個人住宅）▽安全対策（「適」マーク、雪害対策、小型汲取車）▽地方自治と財政▽農業経営を守るために▽「嫁に來たくなる町、大館」のふるさとづくりに向かつて▽平和事業と日中友好の取り組み▽活性化対策▽水田再編と保全管理▽風穴の活用▽矢立小・中学校の早期改築▽その他（姉妹都市、飛行場、住環境整備、市民懇と世論調査、地場産業育成等）

審議された事項

議案等

3月議会定例会の会期中に議決された議案等の件名及び結果は次のとおりです。

- ・昭和59年度一般会計、特別会計決算14件 (昨年12月定例会後の閉会中審査事件) 認定
- ・昭和60年度一般会計、特別会計及び水道、病院兩事業会計補正予算案13件 原案可決
- ・昭和61年度一般会計、特別会計及び水道、病院兩事業会計当初予算案17件 原案可決

・市職員の休日及び休暇に関する条例の一部改正案 原案可決

・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正案 原案可決

・市職員の旅費条例改正案 原案可決

・川口、餅田兩財産区財政調整基金条例案 原案可決

・市税条例改正案 原案可決

・手数料徴収条例改正案 原案可決

・休日応急診療所廃止条例案 原案可決

・農業委員会の選挙区及び選挙区定数条例改正案 原案可決

・道路占用料徴収条例案 原案可決

・市立幼稚園条例改正案 原案可決

・病院事業設置等条例改正案 原案可決

・損害賠償の額の定め 原案可決

・秋田県消防補償等組合同規約の変更協議 原案可決

・辺地総合整備計画策定 原案可決

・市道路線の認定 原案可決

・教育委員の任命 同意

・人権擁護委員候補者の推せん 異議なし

意見書・決議

・釜山存続のための緊急対策確立に関する意見書

・シベリア抑留者の恩給加算改定に関する意見書

・地域林業の活性化、国有林野事業の再建と林業労働力確保を求める意見書

・交通事故防止に関する決議

採択された請願、陳情

・釜山存続と抜本策を求める地方自治体意見書決議要請

・シベリア抑留者の恩給加算改定に関する意見書の提出要請

・地域林業の活性化、国有林野事業の再建と林業労働力確保を求める意見書の提出要請

・私道の市道認定とその整備（美園町内）

・金属釜山の危機対策の確立と公共事業等の拡大を図ること

・市道の側溝整備（長倉町内）

・地元木材製品の公共建造物への使用促進

・釜山助成策の早期実現と緊急対策の実施（趣旨採択）

・金属釜山危機突破の緊急対策 計4件（一部趣旨採択）

・「小さな親切」実践都市宣言

閉会中（継続）審査事件

請願、陳情あわせて37件は、いずれも担当委員会で閉会中に審査することになりました。